

拉致問題担当大臣

古屋 圭司 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成26年7月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	野	田	長	修
鳥	取	県	市	長	深	澤	義	彦
鳥	取	県	市	議	湯	口	史	章
鳥	取	県	町	村	松	本	昭	夫
鳥	取	県	町	村	佐	々	木	秀
			議	会			明	
			議	長				
			会	長				
			副	会				
			会	長				
			会	長				
			会	長				

拉致問題の完全解決について

《提案・要望の内容》

- 北朝鮮による拉致被害者に関する再調査が始まったが、引き続き全力を尽くして、松本京子さんをはじめとする拉致被害者全員の帰国を一刻も早く実現すること。
- 北朝鮮による再調査の進捗に応じて生存者に関する情報等の共有を図るなど、地元自治体との連携を密に行い、帰国後の生活再建に当たっては、拉致被害者及びその御家族に寄り添い、実情に応じた支援を講じることができるよう、国においても手厚い支援を行うこと。あわせて、今年度末に期限が到来する給付金の支給期間を延長するとともに、必要に応じて制度改正等も含め柔軟に対応すること。

<参考>

【政府認定拉致被害者】

- ①松本京子さん（まつもときょうこ米子市出身、当時29歳）：昭和52(1977)年10月21日、自宅近くの編み物教室に向かったまま行方不明。
※平成18(2006)年11月20日、政府が拉致被害者と認定。
(全国で17人目、県内初)



【特定失踪者（拉致の可能性が指摘されている人）】※特定失踪者問題調査会の公表による

- ②古都瑞子さん（ふるいちみずこ日南町出身、当時47歳）：昭和52(1977)年11月14日、普段着で出かけたまま行方不明。自宅には旅行の切符やポケベルも置いたまま。
※平成19年6月、特定失踪者問題調査会は、調査の結果「拉致の可能性が高い」と判断。
平成19年8月、米子警察署に告発状（所在国外移送目的略取誘拐罪）を提出。



- ③矢倉富康さん（やくらとみやす米子市出身、当時36歳）：昭和63(1988)年8月2日、一人で出漁して行方不明。精密工作機械製作の元エンジニア。
※平成19年6月、特定失踪者問題調査会は、調査の結果「拉致の可能性が高い」と判断。
平成19年10月、米子警察署に告発状（所在国外移送目的略取誘拐罪）を提出。



- ④上田英司さん（うえだえいじ伯耆町出身、当時20歳）：昭和44(1969)年11月4日、「京都に行ってくる」と東京の下宿家主に言ったまま行方不明。荷物は紙袋一つ。



【拉致の可能性を排除できない事案に係る方】※鳥取県警察本部の公表による

- ⑤木町勇人さん（きまちゆうと大山町出身、当時20歳）：昭和50(1975)年8月25日、京都府宇治市の下宿先を出て以降、行方不明。

